



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 日本プラス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 青木 智彦 TEL 0544-58-9080
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	28,600	22.7	389	—	422	—	292	—
2023年3月期第1四半期	23,305	4.7	△351	—	△92	—	△487	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,339百万円 (△6.4%) 2023年3月期第1四半期 1,430百万円 (△23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.30	—
2023年3月期第1四半期	△25.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	80,211	27,461	27,461	27,461	34.2
2023年3月期	81,450	26,219	26,219	26,219	32.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 27,461百万円 2023年3月期 26,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	5.00	—	7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,200	17.3	1,500	—	800	—	400	—	20.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	19,410,000株	2023年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	279,667株	2023年3月期	279,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	19,130,372株	2023年3月期1Q	19,117,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済は、世界的な半導体供給不足は徐々に緩和されつつあり、中国のゼロコロナ政策の終了に伴って、中国の経済活動が回復に向け動き出したものの、一部の原材料等の価格高騰・高止まり、ロシア・ウクライナ情勢等の懸念は残存し、引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、中国での日系自動車メーカーの販売が苦戦している影響等による減収はあるものの、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替影響、原材料価格等の高騰の販売価格転嫁が進展したこと等により前年同期比22.7%増の28,600百万円となりました。損益面では、中国での減収影響、一部の原材料等の価格高騰・高止まり、賃金上昇を受けた労務費の増加等による悪化要因はあるものの、増収影響、合理化による収益改善、一部の原材料等の価格高騰影響の落ち着き、得意先の生産回復を受けた生産ロス解消等により営業利益は389百万円（前年同期は351百万円の営業損失）、経常利益は422百万円（前年同期は92百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は292百万円（前年同期は487百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果等により9,904百万円と前年同期に比べ2,888百万円（41.2%）の増収となりました。セグメント損失は、223百万円（前年同期は508百万円のセグメント損失）となりました。増収影響、合理化による収益改善、得意先の生産回復を受けた生産ロスの解消等はあるものの、一部の原材料等の価格高騰・高止まり、賃金上昇を受けた労務費の増加、車種構成差等により赤字脱却とはなりません。

② 北米

北米の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替影響、原材料価格等の高騰の販売価格転嫁が進展したこと等により13,635百万円と前年同期に比べ4,654百万円（51.8%）の増収となりました。セグメント利益は、564百万円（前年同期は479百万円のセグメント損失）となりました。賃金上昇を受けた労務費の増加等はあるものの、増収影響、一部の原材料価格や輸送費高騰影響の落ち着き、合理化による収益改善、得意先の生産回復を受けた生産ロスの解消等により赤字脱却となりました。

③ 中国

中国の売上高は、日系自動車メーカーの販売が苦戦している影響等により4,150百万円と前年同期に比べ2,408百万円（△36.7%）の減収となりました。セグメント損失は、22百万円（前年同期は595百万円のセグメント利益）となりました。合理化による収益改善をはかるものの、減収影響等により赤字に転じました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により909百万円と前年同期に比べ160百万円（21.4%）の増収となりました。セグメント利益は、105百万円（前年同期は79百万円のセグメント損失）となり、増収影響、合理化による収益改善等により赤字脱却となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、80,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,239百万円減少しました。これは原材料及び貯蔵品の減少1,626百万円、現金及び預金の減少983百万円、製品の減少676百万円及び受取手形及び売掛金の増加2,240百万円が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、52,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,481百万円減少しました。これは短期借入金の減少2,097百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、27,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,242百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加532百万円及びその他有価証券評価差額金の増加398百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2023年5月22日に公表の業績予想値より変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,646	10,662
受取手形及び売掛金	15,533	17,774
製品	2,701	2,024
仕掛品	1,311	1,293
原材料及び貯蔵品	12,946	11,319
その他	1,902	1,585
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	46,038	44,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,465	9,442
機械装置及び運搬具(純額)	11,296	11,174
工具、器具及び備品(純額)	4,281	4,379
土地	3,568	3,443
その他(純額)	2,986	2,714
有形固定資産合計	31,598	31,155
無形固定資産		
その他	257	271
無形固定資産合計	257	271
投資その他の資産		
投資有価証券	2,361	2,906
繰延税金資産	149	136
その他	1,052	1,093
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,556	4,128
固定資産合計	35,411	35,554
資産合計	81,450	80,211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,840	10,458
短期借入金	20,439	18,342
1年内返済予定の長期借入金	2,987	2,695
未払法人税等	79	27
賞与引当金	805	433
役員賞与引当金	—	10
製品保証引当金	2,952	2,963
その他	5,537	5,808
流動負債合計	42,643	40,740
固定負債		
長期借入金	6,830	6,204
繰延税金負債	1,689	1,768
退職給付に係る負債	2,863	2,844
役員株式給付引当金	91	102
製品保証引当金	73	74
その他	1,039	1,014
固定負債合計	12,588	12,009
負債合計	55,231	52,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	16,577	16,773
自己株式	△123	△123
株主資本合計	24,873	25,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	1,271
為替換算調整勘定	920	1,453
退職給付に係る調整累計額	△448	△332
その他の包括利益累計額合計	1,345	2,392
純資産合計	26,219	27,461
負債純資産合計	81,450	80,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,305	28,600
売上原価	21,657	26,145
売上総利益	1,648	2,455
販売費及び一般管理費	1,999	2,065
営業利益又は営業損失(△)	△351	389
営業外収益		
受取利息	39	35
受取配当金	25	27
投資不動産賃貸料	16	16
為替差益	216	171
その他	45	26
営業外収益合計	343	277
営業外費用		
支払利息	81	238
持分法による投資損失	0	1
その他	3	4
営業外費用合計	85	244
経常利益又は経常損失(△)	△92	422
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92	424
法人税等	394	132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△487	292
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△487	292

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△487	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	398
為替換算調整勘定	2,006	532
退職給付に係る調整額	△30	115
その他の包括利益合計	1,917	1,046
四半期包括利益	1,430	1,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,430	1,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	7,016	8,981	6,558	749	23,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,740	2	467	1,203	3,414
計	8,756	8,983	7,026	1,952	26,719
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△508	△479	595	△79	△472

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△472
セグメント間取引消去	120
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△351

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	9,904	13,635	4,150	909	28,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,137	16	566	1,878	3,598
計	11,041	13,651	4,716	2,787	32,198
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△223	564	△22	105	424

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	424
セグメント間取引消去	△36
その他の調整	2
四半期連結損益計算書の営業利益	389